

多発地帯で電磁波感知し情報共有

アジアの落雷被害防げ

インターネットを通して世界の落雷情報を共有し、対策に役立てる民間のプロジェクトが今月、雷の多発地帯であるバン格拉デシュとインドで始動する。主導するのは湘南工科大学部の成田知巳教授(五三)。モンゴルやタイに拡大する動きもあり、アジア全体での被害減少につながるを期待されている。

湘南工科大の成田教授



バン格拉デシュなどにプロジェクトを拡大する成田教授。藤沢市の湘南工科大で

プロジェクトは「Blitzortung.org (通称ブリッツ)」と呼ばれ、ドイツの大学教授らが五年ほど前に始めた。落雷で生じる電磁波を世界各地の受信機で感知し、インターネットでドイツにあるサーバーに情報を集約。サイトを覗けば誰でも確認できる仕組みだ。

受信機は材料費が日本円で五万円前後と安い上に作るのも比較的簡単で、世界に約二千台が置かれている。昨年参加した成田教授も国内二十四カ所に設置した。

雷対策を考える上で発生のメカニズムを知るは不可欠。その点でブリッツは有効なのに、参加しているのは欧米やオセアニアの科

インドなどでプロジェクト始動

学者と市民が中心だ。東南アジアや南アジアでは認知度が低く、成田教授は知り合いの大学教授らに、各国の科学者に呼び掛けるよう訴えてきた。

その結果、京都市防災研究所の石川裕彦教授は、バン格拉デシュ工科大からの留学生のついで同大教授と接触。気象学が専門のインドの教授も協力を快諾した。成田教授らは十八日から両国を訪れて受信機を各一台設置し、意見交換する。

他にも琉球大の教授がモンゴル、北海道大の教授はタイで協力者を見つけた。「バン格拉デシュでは昨年、四日間で六十五人が落雷で死亡した。組織や国を超えて科学者が協力し合えるのはうれしい」と成田教授。雷が発生する仕組みや、早期警戒を呼び掛ける防災システムを研究するアジア各国のネットワーク構築も視野に入れている。

神奈川

川崎・麻生 柿生の里 琴平神社

<http://www.kotohirajinja.com>

東急たまらげ、小田急柿生駅よりバス TE104(8:00)0074

県内の天気

	きょう	あす
横浜		
海老名		
小田原		

きょうの予想 (横浜)

降水確率 朝0% 昼10% 晩10%
 気温 最高16度 最低10度
 北の風はじめやや強く

横浜支局 〒231-0007
 横浜市中区弁天通4-52
 ナインティー横浜ビル4階
 電話 045-201-1151
 FAX 045-201-1046
 mail:yokohama@tokyo-np.co.jp

川崎支局
 電話 044-222-1011
 横須賀 046-822-0126
 鎌倉 0467-45-6428
 藤沢 0466-26-4820
 小田原 0465-32-1272
 相模原 042-752-3377
 厚木 046-222-4500
 麻生 044-966-8908
 中原 044-733-0750